まちかどの元気印　日本共産党
市会議員

山田こうじです！

２０１９年2月24日
NO.207

事務所：西院下花田町9-25
電話：222-3728
携帯：090-3970－4701
山田こうじ共産党検索

事務所開きに130人の熱気！　必ず勝利をの決意あふれる

2月16日、午前10時半から開催した「山田こうじ事務所びらき」を行い、130人が参加し、必ず勝利をと決意を固め合いました。

市議会に送って頂いて、あっという間の4年間でした。地域のみなさんと力を合わせて、カーブミラーの設置や、一旦停止の標識設置、信号機の改善、歩道の段差解消など様々取り組んできました。

特に大きな成果は、阪急西院駅のバリアフリーです。交差点直下で、地下埋設物があり駅構造上不可能だと言われていた西院駅。1日4万人の利用者があり、ラッシュ時には狭い階段に人があふれ、電車が入るたびに強風が吹き、転落事故が起きる危険な駅でした。地域のみなさんと粘り強い運動で実現することができました。

住みよいまちづくりに全力！

応仁の乱以来のまち壊し

今の市政は、安倍内閣同様の成長戦略のもと、市民の暮らしよりも、稼ぐ力を呼び込むと、ホテルや大型商業施設、賑わい施設の呼び込みに熱心です。

入洛観光客は5000万人を超え、観光消費は1兆円を超え、好調だと市長は自慢しますが、市民の暮らしも、京都経済も落ち込んだままです。

観光消費の大半は、市外資本のホテルや大型商業施設にもっていかれるだけ。

中心市街地は、ホテルや簡易宿所、大型商業施設が乱立し、商店街など地元中小業者が姿を消し、住環境は悪化し、地価高騰など住みつづけられないと悲鳴が上がっています。

観光地も、観光客であふれかえり、「観光公害」等と言われる始末です。

京都観光の満足度は大きく低下し、日がえり観光客は激減しています。

中小企業応援で京都経済立て直そう！

京都のまちは、伝統産業やモノづくりの職人さんが地域に根付き、その暮らしを支える、商店街などが町の賑わいを、形作ってきました。

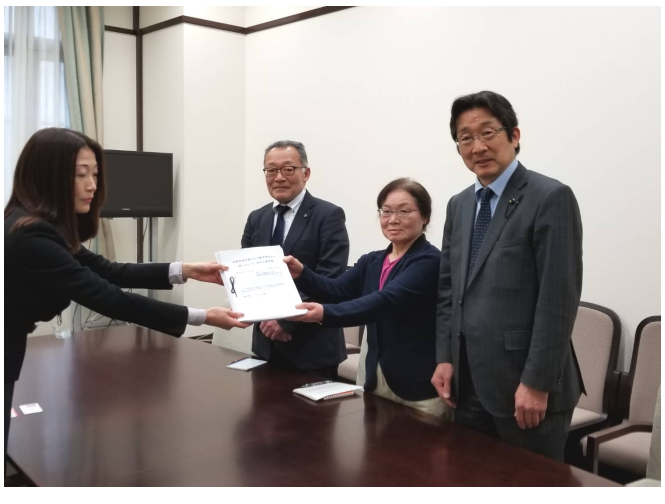
市外から稼ぐ力を呼び込むと、ホテルや大型商業施設の呼び込みではなく、地元中小企業応援で、京都経済を立て直そうと、決意を表明しました。

地元山ノ内の、桑原美保子さん、京都府商工団体連合会、久保田憲一会長、第一法律事務所、大河原壽貴弁護士、倉林明子参議院議員から激励の言葉をいただき、「Nonstop京都」の河本真智子さんからも、メーセージを頂きました。ありがとうございました。

七条通り（川勝寺～桂大橋）間　京阪京都バスに敬老乗車証を使えるように

西京極西学区を通る七条通りには、市バス特33系統が通っていますが、1日4便しかありません。

この地域には、200人の方が敬老乗車証をお持ちです。並行して走る、京阪京都バスでも敬老乗車証を使えるように要望しました。



まいどおおきに　山田こうじです！　NO、201

事務所開きには、大阪から91歳になる父と、妹たちが駆けつけてくれました。

4年前の選挙の時に駆け付けてくれた母の姿はありません。

市会議員に当選し、初の代表質問はテレビの前で緊張しながら見ていたそうです。亡くなる、5日前の昨年の2月市会の代表質問も、ベッドのうえで妹のスマホの画面を見ていたそうです。

事務所開きに来ていたら、私の決意表明を、失敗しないでちゃんと喋れるだろうか等と、私以上にドキドキで見ていてくれたんだろうなと思うと、やっぱり涙が出てきます。亡き、母の為にも、頑張ります。